



# 秋厚労ニュース

NO1985号

2022年8月17日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

# 最低賃金安すぎる

## K'sなごや 学習交流集会

7月23日(土)～24日(日)、オンライン併用で全厚労K'sなごや学習交流集会が開催され、14県70人が参加。秋厚労から4人がオンラインで23日のみ参加し、県外の青年と交流しました。



最後にみんなでピース

## グループ交流 他県の人と話せて良かった

集会はアイスブレイクで始まりました。県をまたいだ5～7人のグループで、自己紹介とデイスカッション。お題は「バイキンマンはなぜアンパンマンに勝てないのか」です。

初対面同士、ちよつと緊張しつつ「悪役だから」「油断している」「パン工場を閉鎖すれば勝てる」とアイデアが飛び交いました。

学習講演や医労連共済の動画で学びながら、クイズやゲーム、感想・近況交流などグループでのやり取りを

多めに挟み、打ち解けやすい工夫がありました。

### 最低賃金生活体験の報告

### 69人中45人 支出が最低賃金越え

全厚労青年委員の藤田祐大さんが、日本医労連青年協議会で2月に行った「最低賃金生活体験」の報告をしました。

29県83人が参加し、最後まで取り組めたのは69人。そのうち45人は1ヶ月の支出が最低賃金を越える結果でした。

### 最賃の差 経済の地域間格差を拡大

学習講演は静岡県立大学短期大学部准教授の中澤秀一さん。「給料が安い！最低賃金と私たちの給料の繋がり」と題して話しました。

5千円弱です。中澤さんたちの最低生活費調査によると、日本全国どこでも1ヶ月24～26万円必要です。

日本の最低賃金の問題点は二つ。一つ目は「最低賃金額では、普通の生活を送れない」こと。例えば秋田県の最低賃金は822円(2022年8月現在)。1日8時間、月22日働いても月額14万

二つ目は、都道府県ごとに異なる最低賃金の差が「経済の地域間格差を拡大させている」こと。最低賃金の高低は、各都道府県の平均賃金の高低と連動。最低賃金の高い都道府県へ人口が流出します。

### 最低賃金と診療報酬の引き上げが重要

中澤さんは「この20～

### K'sなごや参加者の感想

- ☆参加して良かった。最低賃金について考えたことがなかった。
- ☆本当は名古屋へ行きたかった・・・
- ☆勉強になったし、他県の人と話せて良かった。

### ♪青年部フォトコンテスト開催中♪

期間：8月31日まで

対象：組合員全員

テーマ：①夏②初任給で買ったもの③趣味、ハマっているもの

ご応募お待ちしております  
います (^ ^)

応募用QRコード→



30年間、日本人の賃金は上がっていない。近年の物価高で賃金の目減り感がハンパない」と話します。医療・福祉分野の賃金を引き上げ、離職率を下げるには、①最低賃金引き上げによる底上げ②診療報酬の引き上げが重要で、社会から共感を得られるような戦略が大事、と強調しました。